

レバーラッチ LL-66S 取付説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
取付後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

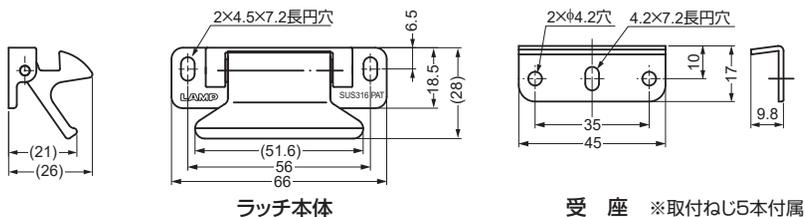
本品は吊戸棚などの扉が、地震などの揺れで開いてしまうのを防止するレバー式のラッチです。
内容物が移動することによって予想を越える衝撃が加わると、扉が開いてしまう場合があります。
重量物などの収納は避けてください。

推奨扉サイズ：高さ 700 mm 以下×幅 500 mm 以下

適応キャビネット：扉下面が地板下面より 34 mm 以上出っ張っていること



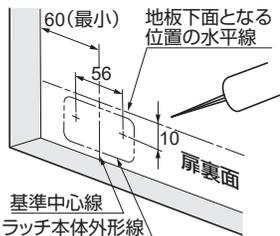
外形寸法



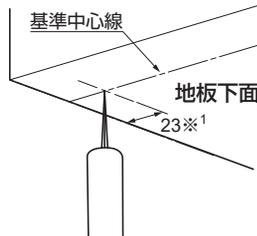
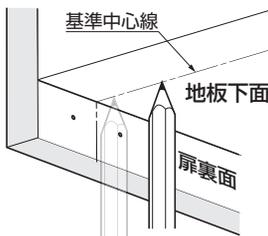
取付手順

手順 1. 扉の裏面と地板下面への野書く

1. 扉の側端から 60 mm (最小) のところで垂直に基準中心線を引く。
 2. 扉の基準中心線を、扉を閉めた状態で地板の下面に写す。
 3. 深さ 2 ~ 3 mm の下穴をあける。
- 注) パッキンが付いている時は ※¹ の寸法からパッキンの厚み分を引いてください。



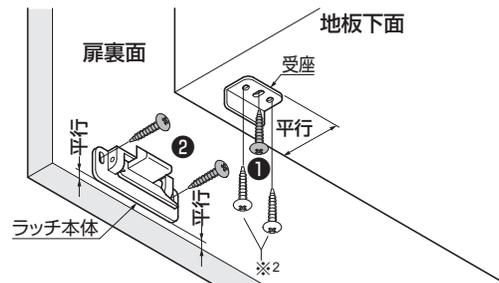
ラッチ本体取付寸法



受座取付寸法

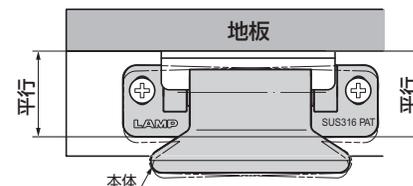
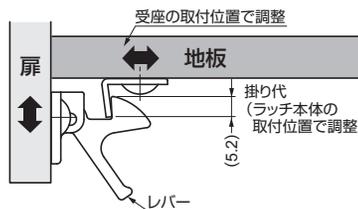
手順 2. ラッチ本体の仮止め

1. 地板下面の取付位置に受座を中央の長穴だけで仮止める。
2. ラッチ本体は、扉の端面と平行、受座はキャビネットの前面と平行になるよう注意して取り付ける。



手順 3. 扉を開閉してラッチの掛り具合をチェックする

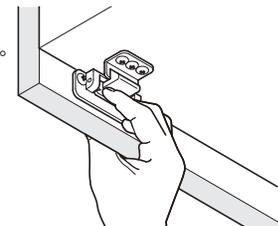
- 地板の取付面とラッチ本体が平行になるよう調整する。
調整後に※²のねじ(手順 2. の図参照)と、全てのねじをしっかりと締め込む。



注) 吊元丁番で扉の目地調整などを行った場合は、再度調整をしてください。

扉の開閉操作方法

- 扉を閉めれば、ラッチが受座がかみ合い、扉を自動的に開かなくします。
- 扉を開ける時は、レバーをつまみながら扉を開けてください。



使用中の調整、メンテナンス

長期間の使用で扉が反ったり、垂れ下がったりすると正常に作動しなくなることがあります。
その場合は、扉の建て付けを調整するか、本品の取付位置を調整してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUME スガツネ工業
LAMP 防犯機器デザインを特長メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2023.01 0305-7